

仕様

SH-727E

全高	105 mm
質量	590 g
カメラネジ	U1/4 "
三脚取り付けネジ	U1/4 "

SH-725E

全高	97 mm
質量	510 g
カメラネジ	U1/4 "
三脚取り付けネジ	U1/4 "

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 禁止 このマークは禁止 (してはいけないこと) 内容です。説明にしたがい事故のないようお使いください。

S255

各部名称

クイックシュー

シュー固定レバー

レバー

※水平調整のめやすです。

パンハンドル(長)

ハンドル接続ネジ

カメラ台

カメラネジ (U1/4")

※三脚用のレバーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレバーとは精度が異なります。

🚫 禁止

パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

水辺ティルトハンドル(短)

パンストッパー

三脚取り付けネジ(U1/4")

水平ティルトマーク

※水平調整のめやすです。

カメラネジツマミ

別売品

スペア用クイックシュー
6264 SH-724E 用

搭載する機材

🚫 禁止

最大搭載質量：
SH-727E 4kg
SH-725E 3kg

これ以上の機材は載せないでください。また上記搭載質量以下でも重心位置によりバランスのとりにくいものもあります。三脚もこれに合ったものを選んでお使いください。

持ち運びのとき

🚫 禁止

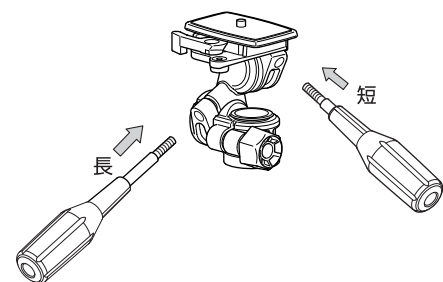
カメラは三脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

機材のセットアップ

⚠ 注意

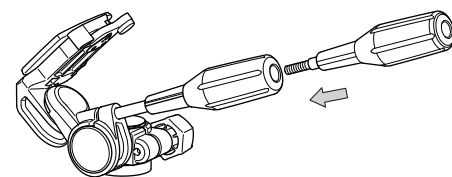
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

パンハンドルの取り付け



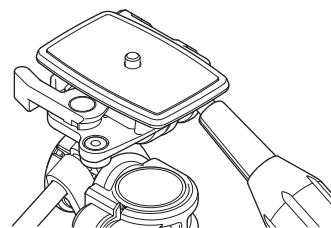
雲台に2本のハンドルを取り付けます。パンハンドル(長)を左、水平ティルトハンドル(短)を右に取り付けてください。

収納



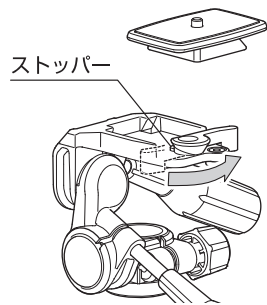
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

レバー

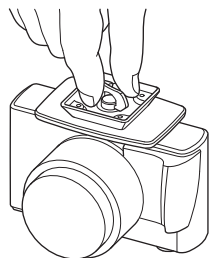


カメラ台の上部にあるレバーを使用すると、写真撮影時の水平出しのめやすとすることができます。三脚用レバーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレバーとは精度が異なります。

カメラの取り付け方

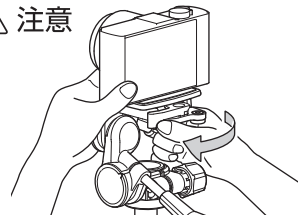


シュー固定レバーを矢印の方向に開きます。この時ストッパーが自動的に持ち上がるまでシュー固定レバーを開いてください。

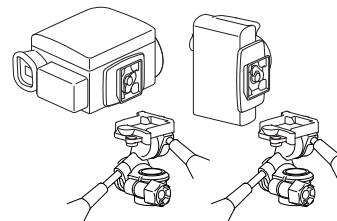


カメラの三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせます。カメラネジツマミをまわして、しっかりと固定します。

⚠ 注意

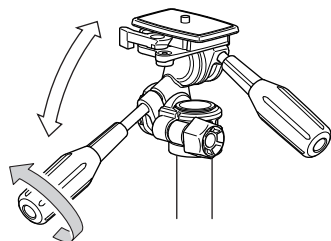


カメラ付きのクイックシューをレバー側からセットすると、シュー固定レバーは自動的に閉じます。さらにレバーを締め込んで、確実に固定します。カメラと雲台の固定を確認してから手を離してください。

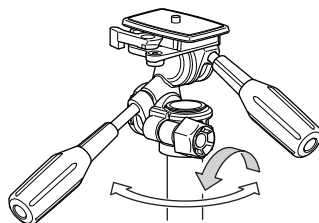


クイックシューは横向きと縦向きどちらにも取り付けることができます。デジタルカメラには横向き、ビデオカメラには縦向きで取り付けると安定します。

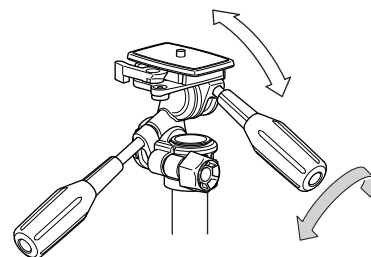
雲台の使い方



雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルやストッパーをゆるめてから操作してください。パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き下向きにティルトできます。

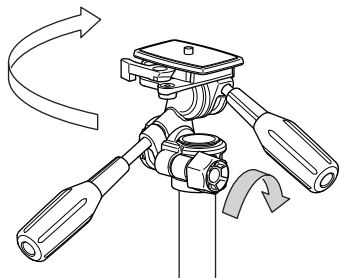


パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向にパンできます。



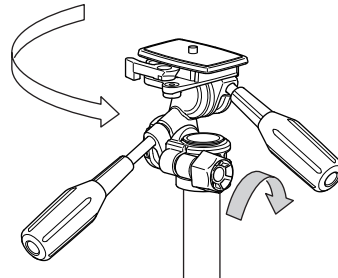
水平ティルトハンドルをゆるめると、カメラを縦位置にすることができます。

雲台の取り付け



雲台と三脚のネジを合わせて、雲台を時計まわりに止まるまでまわします。パンストッパーをきつく締めて、さらに雲台を時計まわりにねじ込みます。

雲台の取り外し



雲台を取り外すときは、初めに三脚のエレベーターをしっかりと固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込み、2つのハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

⊘ 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2015 SLIK CORPORATION